

第6回 部活動地域連携・地域移行協議会を終えて

令和6年12月20日(金)に第6回部活動地域連携・地域移行協議会を開催しました。協議会では、市内でスポーツや文化芸術の活動をされたり、公民館や学校施設を利用されたりしている団体を対象にしたアンケートの回答状況について共有しました。また、生徒や教員を対象にしたアンケートの内容についても協議を行いました。全国の各自治体のガイドラインを参考に、ガイドライン策定の目的・対象とする期間、ガイドラインに入れる項目について協議を開始しています。

小委員会1:「生徒に直接関わること」を中心とした協議

◎生徒を対象にしたアンケートについて

- ・アンケートの表題を「部活動の地域移行に向けた調査」にするとよい。前回の協議会で修正をすることになった箇所について、修正すべき箇所に修正が反映されていることを共有できた。生徒の意向がアンケートから十分把握できるようにするための工夫として、選択肢の並べ方を整えるとよい。

◎ガイドラインについて

- ・ガイドラインの趣旨は、生徒の活動の場を確保することを第一に考え、次に教員の働き方を推進するという流れにする。ガイドラインが対象とする活動は、学校部活動と地域クラブ活動であることを明記する。

小委員会2:「教員・部活動外部指導員」を中心とした協議

◎教員・部活動外部指導員を対象としたアンケートについて

- ・アンケートの目的をアンケートの前半部分に明記する。また、教員、外部指導員が答えやすいよう設問を工夫していく。対象を教員にするのか、外部指導員も含むのかを検討し、設問を作成していく必要がある。

◎ガイドラインについて

- ・地域移行を進めていく上で教職員を含めた指導者の保険の在り方と、教員の兼職兼業、指導等について、先行自治体の取組に関する情報を引き続き把握していく。

小委員会3:「地域移行」を中心とした協議

◎地域団体用アンケートについて

- ・地域団体用アンケート結果の速報について報告を行った。このアンケートは、中学生を受け入れるにあたって、人数や会場規模、指導者などの課題に加え、土日の受け入れやモデル事業への参加について確認した。今後、学校部活動の地域移行の受け入れについて、多くの地域団体が連絡を取り、引き続き検討を行うことについて前向きに回答した。

◎ガイドラインについて

- ・ガイドラインに記載されている文言では、部活動や学校教育に携わっていない人を含め、平易な言葉にしたり、文言の説明や背景等を記載していくとよい。

【まとめ】(委員長から)

多摩市はこれまでも、部活動の地域移行の目的や学校部活動の取組を考え、学校関係者、教員、地域関係、保護者等、広くいろいろな方々の意見を聞いて協議会を進めてきた。その成果として「声」をより多く把握するためにアンケートの内容や表現の仕方を修正したり、ガイドラインの対象とする時期の見直しを図ったりしてきた。引き続き協議を進めていくことが大切である。一方、部活動の地域連携・地域移行に関するの最近のニュースとして、「神戸市」の取組の例がある。今後も他の自治体の動きや流れを注視し、多摩市の実情を踏まえた学校部活動の地域連携・地域移行の進め方を考える必要がある。

